安全データシート

Roche

コバス TAQ SCREEN HBV

版番号	作成改訂日:	前回作成改訂日: 2014/07/15
1.2	2015/03/26	初回作成日: 2013/12/10

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : コバス TAQ SCREEN HBV
製品番号 : 518491734

供給者情報

供給者の会社名称 : ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

住所 : 東京都港区芝2-6-1
1050014

電話番号 : 03-5443-5128
ＦＡＸ番号 : 03-5443-5299
担当部門 : 生産・物流・信頼性保証・薬事部門　クオリティーマネジメント部

緊急連絡電話番号:
緊急連絡先: : カスタマーサポートセンター
0120-600-152
: 03-5443-5287（LS）

推奨用途及び使用上の制限

使用上の制限 : 専門ユーザー向け。

担当部署 : 生産・物流・信頼性保証・薬事部門
クオリティーマネジメント部

2. 危険有害性の要約

GHS分類

本製品は複数の構成試薬からなるキット製品です。 危険有害性の要約にはキット製品としてのGHS分類結果を記載しています。各構成試薬成分の情報は組成及び成分情報を参照ください。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H225 引火性の高い液体及び蒸気。
H302 飲み込むと有害。
H315 皮膚刺激。
H318 重篤な眼の損傷。
H330 吸入すると生命に危険。
H334 吸入するとアレルギー，ぜん（喘）息又は呼吸困難を起

こすおそれ。
H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。
H370 臓器（中枢神経系，腎臓，全身毒性，呼吸器系）の障害
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。

注意書き : **安全対策:**
P210 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。
P260 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P284 (換気が不十分な場合)呼吸用保護具を着用すること。
応急措置:
P304 + P340 + P310 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。 直ちに医師に連絡すること。
P305 + P351 + P338 + P310 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ，再使用する場合には洗濯をすること。
P370 + P378 火災の場合： 消火には、乾燥砂、乾燥化学品 、または耐アルコール性泡消化剤を使用する。
保管:
P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

3．組成及び成分情報

HCV/HBV/HIV-1 CS1

GHS分類

引火性液体 区分2	H225: 引火性の高い液体及び蒸気。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分2A	H319: 強い眼刺激。
生殖毒性 区分2	H361: 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。
特定標的臓器毒性，単回ばく露	H370: 臓器の障害。

区分1 (中枢神経系, 腎臓, 全身毒性)	
特定標的臓器毒性，単回ばく露 区分3 (気道刺激性)	H335: 呼吸器への刺激のおそれ。
特定標的臓器毒性，反復ばく露 区分2 (肝臓, 血管, 脾臓)	H373: 長期にわたる，又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。

危険有害成分

化学名	CAS番号	濃度 (%)	化審法（ENCS)/安衛法（ISHL）番号
プロパン－２－オール	67-63-0	>= 90 - <= 100	2-207 2-(8)-319

Lysis Buffer (R2 / LYS RGT / [HIV/HBV/HCV/DPX/MPX/MPX2 - CS2])

GHS分類

急性毒性 (経口) 区分4	H302: 飲み込むと有害。
急性毒性 (吸入) 区分4	H332: 吸入すると有害。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分2	H315: 皮膚刺激。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分1	H318: 重篤な眼の損傷。
水生環境有害性(急性) 区分3	H402: 水生生物に有害。
水生環境有害性(長期間) 区分3	H412: 長期継続的影響によって水生生物に有害。

危険有害成分

化学名	CAS番号	濃度 (%)	化審法（ENCS)/安衛法（ISHL）番号
グアニジンチオシアナート	593-84-0	>= 40 - < 50	
ポリオキシアルキレン（Ｃ２～４，８）モノアルキル（又はアルケニル）（Ｃ１～２４）エーテル（ｎ＝１～１５０）	9002-92-0	13.6	7-97

HBV/CS3 [Pase] / P2

GHS分類

急性毒性 (吸入) 区分1	H330: 吸入すると生命に危険。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分2B	H320: 眼刺激。
呼吸器感作性 区分1	H334: 吸入するとアレルギー，ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。
特定標的臓器毒性，単回ばく露 区分1 (呼吸器系)	H370: 臓器の障害。

危険有害成分

化学名	CAS番号	濃度 (%)	化審法（ENCS)/安衛法（ISHL）番号
サチライシン	9014-01-1	>= 10 - < 20	11-(2)-226, 11-(2)-227, 11-(2)-247, 11-(2)-227

HBV CS4

GHS分類

GHS分類基準に該当しない。

危険有害成分

本製品は、日本の法令で定められている化学物質、あるいは GHS に準拠して分類されるカットオフ値以上の化学物質は含有しない。

4. 応急措置

一般的アドバイス	: 危険域から避難させる。 医師に相談する。 この安全データシートを担当医に見せる。 被災者を一人にしない。
吸入した場合	: 直ちに医師または日本中毒情報センターに連絡する。 新鮮な空気のある場所に移動する。 意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。
皮膚に付着した場合	: 皮膚の炎症が継続する場合は、医師に連絡すること。 皮膚に付着した場合は、水で十分にすすいでください。 衣服に付いた場合、衣服を脱ぐ。
眼に入った場合	: 少量が目にはねて入った場合、取り返しの付かない組織破壊と失明を引き起こす可能性がある。 眼に入った場合は、直ちに多量の水で洗浄し、医師の手当てを受ける。 病院に運ぶ間にも、眼を洗浄し続けてください。

		コンタクトレンズをはずす。 損傷していない眼を保護する。 洗浄中は眼を大きく開ける。 眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
飲み込んだ場合	:	口を水で洗浄し、その後多量の水を飲む。 気道を確保する。 無理に吐かせないこと。 ミルクやアルコール飲料を与えない。 意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。 症状が持続する場合は、医師に連絡する。 直ちに被災者を病院に連れて行く。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	:	知見なし。
医師に対する特別な注意事項	:	救急医療手順は、産業医療に責任のある医師に相談して設定すべきである。

5．火災時の措置

消火剤	:	耐アルコール泡消火剤 二酸化炭素（CO2） 粉末消火剤
使ってはならない消火剤	:	大型棒状の水
特有の危険有害性	:	火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。
特有の消火方法	:	汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。 火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。 火災時の安全上の理由から、缶をそれぞれ別々に保管する 密閉容器を水スプレーで完全に冷却する。
消火を行う者の保護	:	消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

6．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	:	保護具を使用する。 十分な換気を確保する。 付近の発火源となるものを取り除く。 安全な場所に避難する。 項目７および８に記載した保護措置を参照する。 蒸気がたまると爆発性濃縮物が生成されるので要注意。蒸気

		は低いところにたまる可能性あり。
環境に対する注意事項	:	製品を排水施設に流してはならない。 安全を確認してから、もれやこぼれを止める。 製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	:	漏出物を閉じ込め、不可燃性の吸収剤（砂、土、珪藻土、バーミキュライト等）を使用して集め、地域/国の規則に従い廃棄するために容器に入れる（項目 13 を参照)。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱い注意事項	:	火炎や白熱物質に向けてスプレーしてはいけない。 静電気放電（有機物の蒸気を発火させる場合あり）を防止するために必要な処置をとる。 防爆装置でのみ使用する。 炎、熱および発火源から遠ざける。
安全取扱注意事項	:	エアゾールの発生を避けること。 蒸気/粉塵を吸い込まない。 曝露を避けるー使用前に特別指示を受ける。 皮膚や眼への接触を避けること。 個人保護については項目 8 を参照する。 作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。 静電気放電に対して予防処置手段をとること。 作業室の換気や排気を十分に行う。 内部が陽圧になっていることがあるので、ふたを開ける場合には、慎重に行う。 洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。 皮膚感作性並びに喘息、アレルギー、慢性または反復性の呼吸器疾病を有する人は、この製剤を使用するすべての工程に従事しないことが望ましい。 リークまたはこぼれた物質の拡散を防ぐため、適切な液体保持のシステムを用意する。
衛生対策	:	使用中は飲食しないこと。 使用中は禁煙。 休憩前や終業時には手を洗う。

保管

安全な保管条件	:	禁煙。 容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。 一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためまっすぐ立てておく。 電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。

8. ばく露防止及び保護措置

HCV/HBV/HIV-1 CS1

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 許容濃度	出典
プロパン－２－オール	67-63-0	TWA	200 ppm	安衛法（管理濃度）
		OEL-C	400 ppm 980 mg/m3	日本産業衛生学会（許容濃度）
		TWA	200 ppm	ACGIH
		STEL	400 ppm	ACGIH

生物学的職業暴露限度

成分	CAS番号	対象物質	生物学的試料	試料採取時期	許容濃度	出典
Isopropanol	67-63-0	Acetone	Urine	End of shift at end of work-week	40 mg/l	ACGIH BEI

Lysis Buffer (R2 / LYS RGT / [HIV/HBV/HCV/DPX/MPX/MPX2 - CS2])

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

HBV/CS3 [Pase] / P2

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 許容濃度	出典
Subtilisin	9014-01-1	C	0.00006 mg/m3 (as crystalline active enzyme)	ACGIH

HBV CS4

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

保護具

呼吸用保護具 : 蒸気を形成する場合は、適合したフィルターの付いた呼吸装置を使用する。

手の保護具

材質 : 保護手袋

備考 : 選ばれた防護手袋は、EU指令89/686/EECの仕様と、それから派生する規格EN374を満たすものでなければならない。この推薦は、安全データシートで言及されていて、当社が指定した適用法のために、当社が供給した製品にのみ有効。手袋の供給業者が提供する透過性および破過時間に関する指示に従う。また、切り傷、擦り傷、接触時間など、製品が使われる特定の環境条件も考慮する。ある特定の作業場の適正度は、防護手袋製造者との相談で決定すべきである。

眼の保護具 : 純水入りの眼洗浄ボトル
密着性の高い安全ゴーグル
プロセス中に異常が起きた場合は、顔面シールドと保護服を着用する。

皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性衣服
作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。

9. 物理的及び化学的性質

HCV/HBV/HIV-1 CS1

外観 : 液体

色 : 無色

黒色

臭い : 強い

融点・凝固点 : -89 °C

沸点／沸点範囲 : 82 °C

引火点 : 12 °C

燃焼性（固体、気体） : 燃焼を持続しない。

爆発範囲の上限 : 12 %(V)

爆発範囲の下限 : 2 %(V)

蒸気圧 : 42 hPa (20 °C)

溶解度
水溶性 : 部分的混和性である

分解温度 : 有害な分解生成物が火があるとき生成される。

Lysis Buffer (R2 / LYS RGT / [HIV/HBV/HCV/DPX/MPX/MPX2 - CS2])

外観 : 液体

色 : 無色

臭い : なし

pH : 5.0

融点・凝固点 : データなし

沸点／沸点範囲 : データなし

引火点 : 発光/発熱無し

燃焼性（固体、気体） : この製品はGHS分類の可燃性ではない。

爆発範囲の上限 : データなし

爆発範囲の下限 : データなし

溶解度
　水溶性 : 完全に混和性である

自然発火温度 : データなし

分解温度 : データなし

酸化特性 : この製品は、GHS分類の酸化性には分類されない。

HBV/CS3 [Pase] / P2

外観 : 液体

色 : 透明，淡茶色

臭い : 無臭

pH : 約 5

沸点／沸点範囲 : データなし

引火点 : 発光/発熱無し

爆発範囲の上限 : データなし

爆発範囲の下限 : データなし

溶解度
水溶性 : 完全に混和性である

自然発火温度 : データなし

分解温度 : データなし

HBV CS4

外観 : 液体

pH : 約 8.0

引火点 : 発光/発熱無し

溶解度
水溶性 : 完全に混和性である

酸化特性 : この製品は、GHS分類の酸化性には分類されない。

10．安定性及び反応性

反応性 : 通常の使用条件において既知の危険な反応はない。

化学的安定性 : 通常の状態では安定。

危険有害反応可能性 : 指示通りに保管または塗布した場合は、分解することはありません。
蒸気は空気と爆発性混合物を形成することがある。

避けるべき条件 : 熱、炎、火花。

11．有害性情報

HCV/HBV/HIV-1 CS1

急性毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

プロパン－２－オール:

急性経口毒性 : LD50経口 (ラット): 4,570 mg/kg

LD50経口 (マウス): 3,600 mg/kg

LD50経口 (ウサギ): 6,410 mg/kg

急性吸入毒性 : LC50 (ラット): 30 mg/l, 16000 ppm

曝露時間: 4 h

LC50 (マウス): 53 mg/l

急性経皮毒性 : LD50経皮 (ウサギ): 13,400 mg/kg

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品:

備考: 敏感な人では、皮膚に刺激を起こすことがある。

成分:

プロパン－２－オール:
備考: 敏感な人では、皮膚に刺激を起こすことがある。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

強い眼刺激。

製品:

備考: 眼に永久的な損傷が起こることがある。

成分:

プロパン－２－オール:
結果: 眼に刺激性。
備考: 眼に永久的な損傷が起こることがある。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性: 利用可能な情報に基づく限り分類できない。
呼吸器感作性: 利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖毒性

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。

特定標的臓器毒性，単回ばく露

呼吸器への刺激のおそれ。
臓器（中枢神経系，腎臓，全身毒性）の障害

成分:

プロパン－２－オール:
アセスメント: 眠気又はめまいのおそれ。

特定標的臓器毒性，反復ばく露

長期にわたる，又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。

成分:

プロパン－２－オール:
アセスメント: この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(反復ばく露)としては未分類。

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

詳細情報

製品:

備考: 過剰暴露により起こりうる症状には、頭痛、めまい、疲労感、吐き気、嘔吐がある。
TLVより著しく高い濃度は、昏睡効果を起すことがある。
溶剤は皮膚を脱脂することがある。

Lysis Buffer (R2 / LYS RGT / [HIV/HBV/HCV/DPX/MPX/MPX2 - CS2])

急性毒性

飲み込んだり，吸入すると有害

製品:

急性経口毒性	:	急性毒性推定値:: 1,266 mg/kg 方法: 計算による方法
急性吸入毒性	:	急性毒性推定値:: 3.5 mg/l 曝露時間: 4 h 試験環境: ダスト/噴霧 方法: 計算による方法
急性経皮毒性	:	急性毒性推定値:: > 2,000 mg/kg 方法: 計算による方法

成分:

グアニジンチオシアナート:

急性経口毒性	:	LD50経口 (ラット): 593 mg/kg
急性吸入毒性	:	急性毒性推定値:: 1.5 mg/l 試験環境: ダスト/噴霧 方法: 専門家の判断
急性経皮毒性	:	急性毒性推定値:: 1,100 mg/kg 方法: 専門家の判断

ポリオキシアルキレン（Ｃ２～４，８）　モノアルキル（又はアルケニル）（Ｃ１～２４）エーテル（ｎ＝１～１５０）:

急性経口毒性	:	LD50経口 (ラット): 2,000 mg/kg

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

皮膚刺激。

製品:

備考: 敏感な人では、皮膚に刺激を起こすことがある。

成分:

ポリオキシアルキレン（Ｃ２～４，８）　モノアルキル（又はアルケニル）（Ｃ１～２４）エーテル（ｎ＝１～１５０）:
結果: 皮膚に刺激性。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

重篤な眼の損傷。

製品:

備考: 眼に永久的な損傷が起こることがある。

成分:

ポリオキシアルキレン（Ｃ２～４，８）　モノアルキル（又はアルケニル）（Ｃ１～２４）エーテル（ｎ＝１～１５０）:
結果: 眼に重傷のおそれ。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性: 利用可能な情報に基づく限り分類できない。
呼吸器感作性: 利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

グアニジンチオシアナート:
備考: この製品に 0.1% 以上存在している成分で、IARC によりヒト発がん性物質の可能性がある、となり得る、またはヒト発がん性物質であるとして確認されている物はない。

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性，単回ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性，反復ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

HBV/CS3 [Pase] / P2

急性毒性

吸入すると生命に危険。

製品:

急性経口毒性	:	急性毒性推定値:: > 2,000 mg/kg 方法: 計算による方法
急性吸入毒性	:	急性毒性推定値:: 0.48 mg/l 曝露時間: 4 h 試験環境: 蒸気 方法: 計算による方法

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品:

備考: 敏感な人では、皮膚に刺激を起こすことがある。

成分:

サチライシン:

結果: 皮膚刺激性

備考: 組織を極度に腐食し破壊する。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

眼刺激。

製品:

備考: 眼に永久的な損傷が起こることがある。

成分:

サチライシン:

結果: 眼に重傷のおそれ。

備考: 眼に永久的な損傷が起こることがある。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性: 利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性: 吸入するとアレルギー，ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。

成分:

サチライシン:

アセスメント: 吸入による感作発生の可能性。

結果: 製品は呼吸器過敏化性である、副分類1A。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性，単回ばく露

臓器（呼吸器系）の障害

成分:

サチライシン:
標的臓器: 呼吸器系
アセスメント: 呼吸器への刺激のおそれ。

特定標的臓器毒性，反復ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

HBV CS4

急性毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性: 利用可能な情報に基づく限り分類できない。
呼吸器感作性: 利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性，単回ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性，反復ばく露

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

吸引性呼吸器有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

---

12. 環境影響情報

HCV/HBV/HIV-1 CS1

生態毒性

成分:

プロパン－２－オール:

魚毒性 : LC0 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 10,000 mg/l
方法: OECD 試験ガイドライン 203

LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 12,250 mg/l
方法: OECD 試験ガイドライン 203

LC100 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 15,000 mg/l
方法: OECD 試験ガイドライン 203

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 9,500 mg/l
曝露時間: 24 h

藻類に対する毒性 : EC0 (Scenedesmus quadricauda (緑藻)): 1,800 mg/l
曝露時間: 168 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201

バクテリアに対する毒性 : EC0 (Pseudomonas putida (シュードモナス‐プチダ)): 1,050 mg/l
曝露時間: 16 h

環境毒性アセスメント

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

残留性・分解性

成分:

プロパン－２－オール:

生分解性 : 生分解: 99 %
曝露時間: 11 d
方法: OECD 試験ガイドライン 302

生分解: 57 %
曝露時間: 5 d

方法: OECD 試験ガイドライン 302

生体蓄積性

成分:

プロパン－２－オール:

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: 0.05

土壌中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

データなし

Lysis Buffer (R2 / LYS RGT / [HIV/HBV/HCV/DPX/MPX/MPX2 - CS2])

生態毒性

製品:

環境毒性アセスメント
土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

成分:

グアニジンチオシアナート:

魚毒性 : LC50 (Poecilia reticulata (グッピー)): 89.1 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (Daphnia (ミジンコ属)): 42.4 mg/l
曝露時間: 48 h

環境毒性アセスメント
水生環境有害性(長期間) : 長期継続的影響によって水生生物に有害。

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

ポリオキシアルキレン（Ｃ２～４，８）　モノアルキル（又はアルケニル）（Ｃ１～２４）エーテル（ｎ＝１～１５０）:

M-ファクター (水生環境有害性(急性)) : 1

環境毒性アセスメント
水生環境有害性(急性) : 水生生物に毒性。

水生環境有害性(長期間) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

残留性・分解性

成分:

ポリオキシアルキレン（Ｃ２～４，８）　モノアルキル（又はアルケニル）（Ｃ１～２４）エーテル（ｎ＝１～１５０）:

生分解性 : 生分解: > 99 %
曝露時間: 672 h
方法: OECD 試験ガイドライン 302

生体蓄積性

成分:

グアニジンチオシアナート:

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: -1.38

土壌中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

製品:

生態系に関する追加情報 : 職業上の規則に反した取り扱い、処理が行われた場合は、環境に及ぼす危険性を除外して考えることはできない。
長期継続的影響によって水生生物に有害。

成分:

ポリオキシアルキレン（Ｃ２～４，８）　モノアルキル（又はアルケニル）（Ｃ１～２４）エーテル（ｎ＝１～１５０）:

生態系に関する追加情報 : 水生生物に非常に強い毒性。
職業上の規則に反した取り扱い、処理が行われた場合は、環境に及ぼす危険性を除外して考えることはできない。

HBV/CS3 [Pase] / P2

生態毒性

製品:

環境毒性アセスメント
土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

成分:

サチライシン:

環境毒性アセスメント

水生環境有害性(急性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

水生環境有害性(長期間) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

土壌の毒性データ : 土壌に吸着するとは考えられていない。

環境に関係する他の生物 : データなし

残留性・分解性

データなし

生体蓄積性

データなし

土壌中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

データなし

HBV CS4

生態毒性

データなし

残留性・分解性

データなし

生体蓄積性

データなし

土壌中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物 : 本製品を排水溝、水路、地面に流さないこと。

薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。
認可された廃棄物処理業者へ委託する。

汚染容器及び包装 : 残りの容器を空にする
製品入り容器と同様に処分する。
空の容器を再使用しない。
空のドラムを燃やしたり、切断トーチを使用しないこと

14. 輸送上の注意

国際規制

航空輸送(IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number)	:	UN 1219
国連輸送名 (Proper shipping name)	:	イソプロパノール
国連分類 (Class)	:	3
容器等級 (Packing group)	:	II
ラベル (Labels)	:	Flammable liquids
梱包指示（貨物機） (Packing instruction (cargo aircraft))	:	364
梱包指示（旅客機） (Packing instruction (passenger aircraft))	:	353

海上輸送(IMDG-Code)

国連番号 (UN number)	:	UN 1219
国連輸送名 (Proper shipping name)	:	イソプロパノール
国連分類 (Class)	:	3
容器等級 (Packing group)	:	II
ラベル (Labels)	:	3
EmS コード (EmS Code)	:	F-E, S-D

海洋汚染物質(該当・非該当) (Marine pollutant) : 非該当

MARPOL 73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質（該当・非該当）
非該当

国内規制

特定の国の規則は項目 15 を参照する。

15. 適用法令

HCV/HBV/HIV-1 CS1

関連法規

消防法
第四類, アルコール類, (400 リットル)

化審法
優先評価化学物質

化学名	番号
イソプロピルアルコール	102

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物
非該当

製造の許可を受けるべき有害物
非該当

健康障害防止指針公表物質
非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）
非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）
非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物
法第57条の2（施行令別表第9）

化学名	番号	濃度 (%)
プロピルアルコール	494	>=90 - <=100

名称等を表示すべき危険物及び有害物
法第57条（施行令第18条）

化学名	番号
イソプロピルアルコール	2-3

特定化学物質障害予防規則
非該当

鉛中毒予防規則
非該当

四アルキル鉛中毒予防規則
非該当

有機溶剤中毒予防規則
第２種有機溶剤等

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）
引火性の物

毒物及び劇物取締法
非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法
非該当

火薬類取締法
非該当

船舶安全法
危規則第2,3条危険物告示別表第1: 引火性液体類

航空法
施行規則第194条危険物告示別表第1: 引火性液体

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送	:	有害液体物質(Z類)
個品輸送	:	海洋汚染物質には該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律
特別管理産業廃棄物

この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報：

REACH	:	インベントリーに従わない
CH INV	:	インベントリーに従わない
TSCA	:	TSCA インベントリに未記載
DSL	:	この製品には、カナダDSLまたはNDSLリストに載っていない以下の成分が含まれている。

Magnetic glass particles (MGP)

AICS	:	インベントリーに従わない
NZIoC	:	インベントリーに記載されているか、従っている
ENCS	:	インベントリーに従わない
ISHL	:	インベントリーに従わない
KECI	:	インベントリーに従わない
PICCS	:	インベントリーに従わない
IECSC	:	インベントリーに従わない

インベントリー

AICS (オーストラリア)、DSL (カナダ)、IECSC (中国)、REACH (欧州連合)、ENCS (日本)、ISHL (日本)、KECI (韓国)、NZIoC (ニュージーランド)、PICCS (フィリピン)、TSCA (米国)

Lysis Buffer (R2 / LYS RGT / [HIV/HBV/HCV/DPX/MPX/MPX2 - CS2])

関連法規

消防法
危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法
特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物
非該当

製造の許可を受けるべき有害物
非該当

健康障害防止指針公表物質
非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）
非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）
非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物
非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物
非該当

特定化学物質障害予防規則
非該当

鉛中毒予防規則
非該当

四アルキル鉛中毒予防規則
非該当

有機溶剤中毒予防規則
非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)
非該当

毒物及び劇物取締法
非該当

化学物質排出把握管理促進法

第1種指定化学物質

化学名	番号	濃度 (%)
ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエー	407	14

テル（アルキル基の炭素数が１２から１５までのもの及びその混合物に限る。）		

高圧ガス保安法
非該当

火薬類取締法
非該当

船舶安全法
危険物として規制されていない

航空法
危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律
ばら積み輸送 : 有害液体物質(Z類)

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律
産業廃棄物

この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報：

REACH : インベントリーに従わない

CH INV : インベントリーに記載されているか、従っている

TSCA : TSCA インベントリに記載

DSL : この製品の全成分は、カナダDSLリストに載っている。

AICS : インベントリーに記載されているか、従っている

NZIoC : インベントリーに記載されているか、従っている

ENCS : インベントリーに従わない

ISHL : インベントリーに従わない

KECI : インベントリーに従わない

PICCS : インベントリーに記載されているか、従っている

IECSC : インベントリーに記載されているか、従っている

インベントリー

AICS（オーストラリア)、DSL（カナダ)、IECSC（中国)、REACH（欧州連合)、ENCS（日本)、ISHL（日本)、KECI（韓国)、NZIoC（ニュージーランド)、PICCS（フィリピン)、TSCA（米国)

HBV/CS3 [Pase] / P2

関連法規

消防法
指定可燃物, 可燃性液体類, (2 立法メートル)

化審法
特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物
非該当

製造の許可を受けるべき有害物
非該当

健康障害防止指針公表物質
非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）
非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）
非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物
法第57条の2（施行令別表第9）

化学名	番号	濃度 (%)
サチライシン	186	>=10 - <20

名称等を表示すべき危険物及び有害物
非該当

特定化学物質障害予防規則
非該当

鉛中毒予防規則
非該当

四アルキル鉛中毒予防規則
非該当

有機溶剤中毒予防規則
非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）
非該当

毒物及び劇物取締法
非該当

化学物質排出把握管理促進法
非該当

高圧ガス保安法
非該当

火薬類取締法
非該当

船舶安全法
危険物として規制されていない

航空法
危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送	:	有害液体物質(Z類)
個品輸送	:	海洋汚染物質には該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律
産業廃棄物

この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報：

REACH	:	インベントリーに従わない
CH INV	:	インベントリーに記載されているか、従っている
TSCA	:	TSCA インベントリに記載
DSL	:	この製品には、カナダDSLまたはNDSLリストに載っていない以下の成分が含まれている。
サチライシン		Subtilisin from Bacillus subtilis
AICS	:	インベントリーに記載されているか、従っている
NZIoC	:	インベントリーに記載されているか、従っている
ENCS	:	インベントリーに従わない
ISHL	:	インベントリーに従わない
KECI	:	インベントリーに記載されているか、従っている
PICCS	:	インベントリーに記載されているか、従っている
IECSC	:	インベントリーに記載されているか、従っている

インベントリー

AICS (オーストラリア)、DSL (カナダ)、IECSC (中国)、REACH (欧州連合)、ENCS (日本)、ISHL (日本)、KECI (韓国)、NZIoC (ニュージーランド)、PICCS (フィリピン)、TSCA (米国)

HBV CS4

関連法規

消防法
指定可燃物, 可燃性液体類, (2 立法メートル)

化審法
特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物
非該当

製造の許可を受けるべき有害物
非該当

健康障害防止指針公表物質
非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）
非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）
非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物
非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物
非該当

特定化学物質障害予防規則
非該当

鉛中毒予防規則
非該当

四アルキル鉛中毒予防規則
非該当

有機溶剤中毒予防規則
非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)
非該当

毒物及び劇物取締法
非該当

化学物質排出把握管理促進法
非該当

高圧ガス保安法
非該当

火薬類取締法
非該当

船舶安全法
危険物として規制されていない

航空法
危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質(Z類)

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律
産業廃棄物

この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報：

REACH : インベントリーに従わない

CH INV : インベントリーに従わない

TSCA : TSCA インベントリに未記載

DSL : この製品には、カナダDSLまたはNDSLリストに載っていない以下の成分が含まれている。

Betaine monohydrate

酢酸マンガン（II）四水和物 Acetic acid, manganese(2+) salt, tetrahydrate

AICS : インベントリーに従わない

NZIoC : インベントリーに記載されているか、従っている

ENCS : インベントリーに従わない

ISHL : インベントリーに従わない

KECI : インベントリーに従わない

PICCS : インベントリーに従わない

IECSC : インベントリーに従わない

インベントリー

AICS (オーストラリア)、DSL (カナダ)、IECSC (中国)、REACH (欧州連合)、ENCS (日本)、ISHL (日本)、KECI (韓国)、NZIoC (ニュージーランド)、PICCS (フィリピン)、TSCA (米国)

HCV/HBV/HIV-1 CS1

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H225 引火性の高い液体及び蒸気。
H319 強い眼刺激。
H335 呼吸器への刺激のおそれ。
H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。
H370 臓器（中枢神経系，腎臓，全身毒性）の障害
H373 長期にわたる，又は反復ばく露により臓器（肝臓，血管，脾臓）の障害のおそれ

注意書き : **安全対策:**
P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P210 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。
P233 容器を密閉しておくこと。
P240 容器を接地すること/アースをとること。
P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/機器を使用すること。
P242 火花を発生させない工具を使用すること。
P243 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
P260 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに，飲食又は喫煙をしないこと。
P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
応急措置:
P303 + P361 + P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
P304 + P340 + P312 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
P370 + P378 火災の場合：消火するために乾燥砂 ，粉末消火剤（ドライケミカル）または耐アルコール性フォームを使用す

ること。
保管:
P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P403 + P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
P405 施錠して保管すること。
廃棄:
P501 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

Lysis Buffer (R2 / LYS RGT / [HIV/HBV/HCV/DPX/MPX/MPX2 - CS2])

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H302 + H332 飲み込んだり，吸入すると有害
H315 皮膚刺激。
H318 重篤な眼の損傷。
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。

注意書き : **安全対策:**
P261 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに，飲食又は喫煙をしないこと。
P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P273 環境への放出を避けること。
P280 保護眼鏡／保護面を着用すること。
P280 保護手袋を着用すること。
応急措置:
P301 + P312 + P330 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。
P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。
P304 + P340 + P312 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
P305 + P351 + P338 + P310 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

P332 + P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ，再使用する場合には洗濯をすること。
廃棄:
P501 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

HBV/CS3 [Pase] / P2

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H320 眼刺激。
H330 吸入すると生命に危険。
H334 吸入するとアレルギー，ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。
H370 臓器（呼吸器系）の障害

注意書き : **安全対策:**
P260 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに，飲食又は喫煙をしないこと。
P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P284 (換気が不十分な場合)呼吸用保護具を着用すること。
応急措置:
P304 + P340 + P310 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。 直ちに医師に連絡すること。
P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
保管:
P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P405 施錠して保管すること。
廃棄:

P501 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

HBV CS4

GHSラベル要素

GHS分類基準に該当しない。

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、このSDSのﾃﾞｰﾀはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA